

令和 7 年度 三好市立学校評価報告書

学校名(王地小学校)

作成日 令和8年3月6日

校長名(喜多 佳英)

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.0	○常に全教職員の共通理解と相談体制を重視した協働体制を構築し、家庭や地域に信頼される学校づくりの推進に務めた。 ○運動会等、行事の準備や活動内容の精選を地域や保護者と連携して行ってきた。	○教職員の協力体制ができており、それが教育活動に生かされている。 ○地域に根ざした学校運営が実践できている。	○今年度実施した業務改善や精選、教育課程の見直しを継続していくとともに、保護者や地域と連携して、さらに、効果的な教育活動や働き方改革を推進する。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	2.8	○児童がいじめや差別のない人間関係を築けるよう指導するとともに、個別の関わりも積極的に行った。	○教育活動、学校行事等が十分実施できた。	○持続可能で明確な学校経営方針を提示することで、教職員のベクトルをそろえる。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.2	○児童に対する健康・安全教育や食育を実施するとともに、懇談や学級通信等を通じて、各家庭への啓発も行うことができた。	○「学びのサポート」、「放課後教室」等の活用による手厚い教育が、基礎基本の定着や学力向上へと繋がっている。	○地域人材・地域教材を活用した教育課程の編成に努める。
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4	○毎日、ホームページを更新し、学校の様子や情報を伝えることができた。	○放課後体育を通して、児童の居場所づくりと体力向上、仲間づくりが行われている。	○さらなる日課表の見直しを行い、児童、教職員ともに放課後の充実を図る。
⑤ その他、上記以外に関する評価()	3.0	○地域行事への参加や地域の教育力を活かした活動を展開することができた。 ○地域の人材や外部講師を、ゲストティーチャーやボランティアとして有効に活用した。 ○施設・設備の安全点検を定期的を実施し、必要に応じて整理整頓、修繕に努めた。	○行事(パークゴルフ、もちつき、縄ない体験、ポッチャ)を通して、学校と分館(老人会)の繋がりをを感じる。今後も継続してほしい。 ○ボランティアとして、校庭の除草や樹木の剪定などできることは学校に協力していく。	○複式学級での学習にて培ってきた、児童がしっかりと話を聞いたり、質問したり、自主的に学習したりする学習環境や学習支援を継続していく。 ○家庭や地域への情報発信について、内容や方法を検討しながら継続し、更なる理解や協力が得られるよう努める。 ○教職員全体で常に危機管理意識を共有し、命を守ることを最優先にした学校運営に取り組む。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80～100 %
3=達成度が 50～ 80 %
2=達成度が 30～ 50 %
1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)～(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとする。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事がらを記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。